

WHO ファクトシート

WHO による医薬品事前認定

Prequalification of medicines by WHO

ファクトシート No. 278

2013 年 1 月

重要な事実

- ・毎年、数十億米ドル相当の医薬品が、国際的調達機関（国連児童基金（ユニセフ）やエイズ・結核・マラリア対策世界基金、ユニットエイドなど）により、医薬品資源が限られている国々で配布するために直接的・間接的に購入されている。
- ・WHO の医薬品事前認定プログラム（PQP）は、調達機関の供給する医薬品が品質、安全性、有効性の許容基準を満たすものであることを確認する支援プログラムとして実施されている。
- ・2012 年末現在、WHO 事前認定済医薬品リストには、重要疾病のための 316 種類の医薬品が含まれる。
- ・WHO の事前認定済医薬品リストは、国際調達機関のみならず、各国の医薬品大量購入時の指針として利用されている。
- ・医薬品事前認定プログラム（PQP）では、薬剤の有効成分や品質管理のための検査所を事前認定している。

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分についての日本語版の翻訳権を WHO 事務局長より付与され、WHO 健康開発総合研究センター（WHO 神戸センター）の協力のもと作成したものです。日本語版に対する責任は全て日本 WHO 協会が負います。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Prequalification of medicines by WHO ファクトシート原文は [こちら](#)